

NO NUKES 核兵器なくそう！みんなの思いあつめてニューヨークへ

今年、4月27日から「2015年NPT再検討会議」が始まります。今回の国際会議は、加盟国はもちろん核保有国も含め、核兵器全面禁止条約に向けて実行が問われる重要な会議です。唯一世界で被爆国である私たちが戦争や核兵器の恐ろしさを多くの人に知ってもらい世界を動かすことが求められています。

この会議にあわせて、日本から多くの代表団が派遣されます。府職労からは2人の青年が参加します。2人の代表派遣カンパと核兵器廃絶を求める署名を集め、「核兵器なくそう！」の思いを若い2人に託しましょう。



岡本 光さん (八尾保健所)
『平和』って、あたり前だと思っただけで、自分らで作っていかないと勉強していかないと思います

NPT再検討会議って？

核兵器保有国が増えるのを防止する目的で1970年に発効した核不拡散条約(NPT、190カ国加盟)の運用状況を検討するため、1995年から5年ごとに開催されている。2000年は「核保有国による核廃絶への明確な約束」を盛り込んだ最終文書を採用した。核兵器全面禁止に向けたとりくみが求められている。

ながの しおり 長野 汐梨さん (泉佐野保健所)

原子力とか核とかイメージがわからなかったのですが、東日本大震災があって、自分の近くにもあることに気づきました。今回のチャンスをもらえたので学習含めて行動していきたいと思っています

カンパにご協力を

今回参加する岡本さん、長野さんはともに2014年度採用の保健師さん。普段は住民のいのちと健康を守るためにがんばっています。2人とも東日本大震災のときにボランティアに参加したという経験をもっています。私たちの代表として、参加していただく2人の代表派遣カンパに積極的にご協力をお願いします。

3・12大阪総行動



賃上げでケイキ回復 大阪市カイトイはハンタイ



3月12日、2015国民春闘の全国統一行動がとりくまれ、府庁での早朝宣伝をはじめ、ランチタイムパレード、春闘決起集会・パレードなどがとりくまれました。また、医療労働者による「ナースウエーブ」行動として、大阪府看護協会への要請、学習会もとりくまれました。行動終了後、府職労と大教組は府人事委員会に対し「すべての労働者の賃上げと地域経済の活性化につながる勧告を求める」要請も行いました。



ナースウエーブ 学習会

たたかう若者たちとブラック企業の実態②

首都圏青年ユニオン委員長 神部 紅さん

生きるため ブラック企業を選択
30年前は、完全失業者のうち失業給付を受けている人は6割いました。現在は、激減しています。つまり8割の人が無収入ということになります。こういう状況下では、生活保護でも受けな

い限り、どんな劣悪な条件であっても仕事に就かなければ、飢えてしまいます。だから「ブラック企業で働きたくない」と、最も考えているのは若者たちですが、ブラック企業を求めるという矛盾した状況になっています。ブラック企業であっても、そこに手を伸ばさ

なければ生きていけないからです。これではブラック企業はなくなりません。このように働く貧困層は社会の中で拡大再生産され、固定化されていると言えます。頼れる家族もいなければ、サラ金やヤミ金に手を出すということもよくあります。大手サラ金会社では、20

すべての労働者の賃上げで景気回復 大阪を元気に！ 2015国民春闘



3月5日、府職労は、大教組(大阪教職員組合)、市労組(大阪市役所労働組合)と「2015春闘学習決起集会」を開催しました。集会には府内の自治体や民間労働組合からの参加もあり、全体で140名が参加しました。

大教組の田中委員長らの主催者あいさつに続き、大阪府連の小山事務局長の激励あいさつ、大阪メンスアパレル工業組合の中野理事長から連帯あいさつがありました。
「明るい会」の中村事務局長を招き、「大阪都」構想と住民投票をめぐる情勢について学習しました。
中村さんは、「橋下・維新の会」がめざす大阪府廃止・分割構想の中心問題について、①大阪府をなくす、②暮らしをつぶす、③1人の指揮官でやりたい放題、の3つであると指摘し、この3つの中心問題を市民に分かりやすく広げることが必要と強調しました。また、保守・革新を問わず、新たな共同が大きく広がっており、維新政治が退場すれば、今までのようなオール与党体制とは違う新しい状況が生まれる条件があると話されました。
公務も民間も力をあわせて2015春闘をたたかおう！
集会では、福祉保育労働組合より民間福祉職場の厳しい実態が報告され、JALの不当解雇撤回裁判をたたかっている原告団からは、最高裁の不当な棄却に抗議するとともに、引き続き奮闘する決意が語られました。大阪府労組と大教組、府職労からは決意表明を行い、府職労の有田委員長が行動提起し、大阪府労組の竹村委員長が閉会あいさつしました。
参加者からは、「大阪府をなくすな」のとりくみを広げたい、「労働者のたたかっている姿が聞けて自分も元気が出た」などの感想が寄せられました。